

2007年度 スローガン(案)

八戸青年会議所

勇 往 邁 進

「思いやりと気配り」溢れるまちの実現に向けて

青森ブロック協議会

「あおもりの力」で創る素晴らしき理想郷「あおもり」(案)

東北地区協議会

凛々しい魂が織り成す 清く正しく美しい東北

～「東北の力」で導く理想国家日本の創造～

日本青年会議所

「日本の力」発信!

理想国家日本の創造に向けて!

2007年度 スローガン(案)

八戸青年会議所

勇 往 邁 進

「思いやりと気配り」溢れるまちの実現に向けて

青森ブロック協議会

「あおもりの力」で創る素晴らしき理想郷「あおもり」(案)

東北地区協議会

凛々しい魂が織り成す 清く正しく美しい東北

～「東北の力」で導く理想国家日本の創造～

日本青年会議所

「日本の力」発信!

理想国家日本の創造に向けて!

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning
and purpose to human life;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise;
That government should be of laws
rather than of men;
That earth's great treasure lies in
human personality; and
That service to humanity is the best
work of life.

『 J C 宣言 』

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り拓き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと協和する確かな時代を築くために

率先して行動することを宣言する

糸岡

令頁

われわれ J A Y C E E は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者 相集い 力を合わせ

青年としての

英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

2007年度 (社)八戸青年会議所 組織表(案)

執行部・常任理事 (18名)	
理事	石鉢 明
副理事	館 一 法
副理事	北村 寛
副理事	横 一郎
副理事	山本 彦
副理事	高橋 誠
副理事	杉本 紀
専務理事	豊田 貴
組織開発担当	佐々木 智
専務理事	石橋 伸
専務理事	上村 克
専務理事	河村 忠
専務理事	苦米地 俊
専務理事	三上 正
専務理事	中野 信
専務理事	寺沢 奈美子
専務理事	北山 光
専務理事	小泉 輝
専務理事	美成

総務委員会 (14名)	
委員長	河原木 也
副委員長	大久保 英
幹事	夏 堀 嘉一郎
委員	泉 野 彩
委員	上野 裕 泰
委員	齋藤 大 敦
委員	笹垣 守 藏
委員	島白 濱 之
委員	田中 美
委員	沼畑 穂
委員	橋本 文
委員	松本 よし
委員	山田 知

こころ共育委員会 (20名)	
委員長	高松 宣 明
副委員長	飯田 雄
幹事	安 田 晃 樹
委員	秋 田 巧 平
委員	石橋 光一郎
委員	一 戸 正 宏
委員	伊藤 裕 裕
委員	小幡 千 二
委員	掛端 英 弘
委員	金 入 美 登
委員	佐々木 紀 幸
委員	浄法寺 和 彦
委員	菅原 葉 幸
委員	千長 川 剛
委員	松本 義 康
委員	水 無 裕
委員	安田 勝
委員	横山 正
委員	吉野 美
委員	剛一郎

まち・発展グループ おまつり委員会 (20名)	
委員長	山田 修 也
副委員長	鹿 博 美
幹事	榊 純 哉
委員	大木 誠 芳
委員	工藤 厚 孝
委員	藤原 晴 史
委員	黒島 弘 奈
委員	小坂 泉 康
委員	坂下 純 一
委員	田村 清 夫
委員	月 鶴 英 啓
委員	鶴 新 桂
委員	野田 勉 工
委員	廣 沢 哉
委員	宮田 和 隆
委員	森川 貴 広
委員	吉田 広 崇
委員	若 宮

夢・推進グループ 半世紀構想委員会 (15名)	
委員長	藤 裕 幸
副委員長	越後 林 寛
幹事	荒 道 武
委員	河原 木 俊
委員	工坂 真 賀
委員	清水 水 一
委員	城本 弘
委員	杉下 繁 直
委員	大田 拓 賢
委員	中川 守 賢
委員	中原 村 治
委員	中村 剛
委員	新井 山 光
委員	八 田 実

夢・推進グループ 全国大会誘致委員会 (20名)	
委員長	藤 田 寛 明
副委員長	永 洞 健
幹事	中野 一 真
委員	五十嵐 昌 雅
委員	小澤 一 吉
委員	片谷 林 邦
委員	小々木 寛 樹
委員	佐々木 利 幸
委員	佐藤 一 成
委員	清水 隆 仁
委員	下沢 水 矢
委員	田口 哲 恵
委員	警田 弘 郎
委員	橋本 忍 子
委員	林 俊 治
委員	日山 錠 之
委員	平野 晴 介
委員	山田 陽 和
委員	山村 村 芳
委員	渡 邊 勇 志

出向 向 理 事 小 山 直 也

出向 向 理 事 番 地 紀 成

直前 理 事 長 石 橋 信 雄

監 監 事 高 回 朋 尚

監 監 事 中 居 一 元

まち・発展グループ
南部州実践委員会
(14名)

委員長	徳 吉 澤 吉
副委員長	章 澤 信
幹事	村 田 頼 哲
委員	小 山 池 生 司
委員	小 菊 直 也
委員	高 山 橋 芳 樹
委員	中 沼 芳 か
委員	沼 本 健 志
委員	橋 本地 朗
委員	番 井 紀 成
委員	三 井 拓 一
委員	山 内 彦 介
委員	横 澤 大

休会(2名)
西 川 毅 磨
野 沢 利 也

2007年度理事長基本方針（案）

ここ数年、日本全体では景気の上向き傾向が続くにつれ、新たに格差社会の進行という問題が生まれています。その様な社会情勢のなか、社団法人八戸青年会議所は創立から“半世紀”という大きな節目を間もなく迎えようとしています。これまで“明るい豊かな社会の実現”を掲げ、「ラブはちのへ」運動の誕生以降は「知・即・愛」の精神を根幹に、多くの事に積極果敢に取り組んでまいりました。

人が真の幸せを感じる時はどのような時なのかを考えたとき、それは物質的な豊かさというよりは、精神的な豊かさであると考えます。大きな節目を迎えようとしている今、私たちは改めて精神的に豊かな社会の実現について考えることが必要です。

昨今の報道でよく耳にする親子の間での殺人事件や、社会において手本となるべき職業に就いている人のモラルに反した犯罪の増加の度合いは異常とも言えます。これらの犯罪が起こる原因を考えてみると、自分さえよければ他人はどうでも良い、衝動的な自分の欲求をコントロールすることが出来ないといった利己主義によるものが大半であり、この良からぬ風潮は私たちの身近な地域でも増加しています。私たちはこのような社会の状況を見過ごすのではなく、出来る限りのアクションを起こすべきです。まちづくりに繋がるひとづくり。これこそが今、青年会議所に求められているものなのです。決して精神的に豊かとは言えない現状を打破するためにも、青年会議所として市民に対し道徳心やモラルの大切さを訴える事が必要であると考えます。そのためにも、まずは自らを省みることが必要です。道徳とは人として守るべき精神的規範、モラルとは自立した成人として守るべき社会的規範であり、特に自分以外の人間に対しての道徳心である“思いやりと気配り”は重要です。

これから大人として人間形成する過程にある子ども達に道徳心という自律のコントローラーを持たせてあげることは、子ども達が一人の人間として自立するうえで重要なことです。この事は社会を形成する人間を育成することで、明るい豊かな社会を実現しようとする取り組みでもありますが、次代を担う子ども達の育成に取り組むことは、私たち大人も改めて道徳心の大切さを認識するための“共育”でもあります。そのためにも、まずは自らが自己研鑽することが大事です。

私たちは“思いやりと気配り”溢れるまちの実現に向けて「全国会員大会」を八戸で開催するという大きな夢に向かって邁進しています。一人では出来ない事も、多くの仲間と力を合わせれば出来る事もあります。我々が目指す“思いやりと気配り”溢れるまちを実現するためにも、組織としてより一層の体系的かつ内容的充実を図ることが大事です。「全国会員大会」の誘致運動に取り組む事により、八戸青年会議所の会員相互の精神的な繋がりを強固にすることができると同時に組織力の向上を図ることができ、それは目には見えない効果と言えるでしょう。更には全国の青年会議所活動に取り組む仲間との交流や、諸団体との一層の連携構築等は目に見える効果と言えるでしょう。本年は、今まで行ってきた組織としての意見集約の段階から、全国へ向けて発信するという段階にステップアップする年であり、大きな挑戦への第一歩と位置づけます。

一方で、私たちは大きな夢に取り組むと同時に、直接市民と触れあう事ができる「おまつり広場」という事業を展開しています。今や市民にとって無くてはならないおまつり広

場は、昭和53年から始まり本年で第30回という節目を迎えます。当初、何も行事がなかった三社大祭の中日の活性化という目的で始まったこの事業は、市民ボランティアの参加も増え、市民がおまつりを体感できる場となってきたなど進化し続けています。おまつり広場の更なる進化のために、今までの歴史を踏まえつつ、改めてこれからのおまつり広場のあり方について模索、実践する年にしたいと考えます。

さらに、まちづくりの中でも特に広域でのまちづくりへの取り組みの一つとして継続している「南部州構想」は、行政枠にとられない快適自立生活圏を提唱し、市民に対し広域連携のあり方を投げかけるものです。市民にとって、まちにとって、どのようなあり方が望ましいのかを市民と共に考える有効なツールであり、現在の連携をさらに推進することが大切であると考えます。

私たちが様々な取り組みに挑戦するとき、「温故知新」という考え方は大切です。本年は創立から“半世紀”という非常に大きな節目を目前にし、八戸青年会議所がどのような道を歩み、どこへ向かっていくのかを、今まで以上に多くの市民や全国の青年会議所の仲間へ伝えるための準備をしなければなりません。そのためには自分という個人、青年会議所という組織、そして八戸という故郷を知ろうとすることが大切です。知ろうとする好奇心は、これからどうしたいのかという自己の行動への欲求に変わり、それは私たち八戸青年会議所の使命感と責任感の原動力となります。過去を知り、これからの方向性を見出す事は周年事業を行う意義の一つであるからこそ、来るべき50周年に向けて今からの準備が必要です。

八戸青年会議所はこれからも永い道程を歩んでいきますが、社団法人という組織として省みたとき、2008年から施行される“新しい公益法人制度”を控え、組織としての対応が求められています。社団法人から公益社団法人として、新たな姿へ羽化することは未来の八戸青年会議所会員に対する我々の義務であり、その過程をクリアすること無くして組織としての存続はあり得ないと考えます。

一人ひとりが“思いやりと気配り”をもって、個人として、組織人として、どう考え、どう行動するかという意識が重要です。意識が変われば行動が変わります。個人が変われば組織が変わります。目には見えない“思いやりと気配り”こそが大切なのです。

《重点テーマ》

“思いやりと気配り”の溢れる人間共育
「温故知新」を念頭に置いた活動
公益性を重視したJC運動の展開

《重点事業》

「第59回全国会員大会」主管立候補への取り組み
(仮)「第30回おまつり広場」の開催
道徳心を醸成する青少年事業の開催
南部州共同事業の開催
全体で取り組む会員拡大

2007年度事業計画（案）

総務委員会

執行部を補佐し、八戸青年会議所の運営を円滑に進めると共に、内外における情報受発信を行う。

- 総会、例会、理事会の運営
- 新年会、忘年会、卒業式の企画・開催
- 会員手帳の作成
- ホームページ及びイントラネットの管理・運用
- 苫小牧交流会の窓口
- マスコミ諸団体の窓口
- 各種案内の発送
- 各事業の取材・記録
- 新入会員入会手続きの窓口

こころ共育委員会

次代を担う子ども達に道德心を基礎とする人材育成を行うと共に、道德共育を通じた会員の資質向上を図る。

- セミナーの実施
- 道德心を醸成する青少年事業の開催
- わんぱく相撲への対応

まち・発展グループ

おまつり委員会

今までの歴史を再認識したうえで、これからのおまつり広場のあり方を模索、実践すると共に 2007年度八戸青年会議所の活動を発信する。地域で活動する諸団体との連携を推進する。

- おまつり広場の調査・研究を行い、歴史を再認識した上での（仮）「第30回おまつり広場」の開催
- 市民参画実行委員会との連携推進
- 市民参加型のおまつり広場の推進
- ふれあいセンターわいぐとの連携
- 冬のおまつり事業の企画、開催

南部州実践委員会

南部州内各 L O M および南部州デザイン会議と協働で南部州共同事業を開催し、広域連携を推進すると共に、市民の広域連携に対する認識を向上する。

- 広域まちづくり運動に対する市民の認識度の向上促進
- 南部州共同事業の開催
- 南部州デザイン会議との協働

夢・推進グループ

半世紀構想委員会

八戸青年会議所の歴史を調査・研究し、これからの八戸青年会議所の方向性を模索すると共に 50 周年に向けた準備を行う。

- L O M の歴史を編さんし、50 周年に向けた提言策定とメンバーの認識度を高める
- 50 周年記念事業の検討、企画
- 50 周年における八戸青年会議所としての発信のあり方についての検討

全国大会誘致委員会

全国会員大会誘致に向けて情報収集・発信と実務を担い、全会員で取り組む誘致運動を推進する。

- 全国会員大会主管立候補に向けた招致理念および開催計画（案）の作成
- 「第 56 回全国会員大会帯広大会」支援に関する L O M の窓口
- 出向者とメンバー間の情報共有の推進

2007年度 一般会計 収支予算(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
款	予算	款	予算
1. 会費	20,350,000	1. 負担金	3,278,558
2. 雑収入	60,000	2. 事務費	6,998,942
3. 終身会費	780,000	3. 事業費	8,432,500
		4. インフォメーション関係費	310,000
		5. 渉外費	1,400,000
		6. シニアクラブ運営協力金	390,000
		7. 次年度準備金	130,000
		8. 特別会計繰入支出	100,000
		9. 予備費	150,000
合計	21,190,000	合計	21,190,000

(単位:円)

収入の部			
款	予算	項	予算
1. 会費	20,350,000	1. a. 正会員	17,500,000
		b. 賛助会員	50,000
		c. 新入会員	2,800,000
2. 雑収入	60,000	2. 雑収入	60,000
3. 終身会費	780,000	3. 終身会費	780,000
合計	21,190,000	合計	21,190,000

(単位:円)

支出の部			
款	予算	項	予算
1. 負担金	3,278,558	1. a. JCI	211,133
		b. 日本JC	835,000
		c. 地区	228,500
		d. ブロック	765,000
		e. 国際協力金	271,925
		f. WE BELIEVE・JC-PRESS	447,000
		g. 出向者負担金	470,000
		h. 南部州デザイン会議	50,000

(単位:円)

支 出 の 部			
款	予 算	項	予 算
2. 事 務 費	6,998,942	2. a. 事務局維持費 b. 倉庫賃料 c. 事務局員費 d. 通信費 e. 消耗品費 f. リース費 g. 備品費 h. 借室料 i. 慶弔費 j. 雑費	868,060 315,000 3,337,760 650,000 700,000 148,122 250,000 130,000 150,000 450,000
3. 事 業 費	8,432,500	3. a. 例会講師関係費 b. 事業予備費 c. 委員会事業費 イ) 総務委員会 ロ) こころ共育委員会 ハ) おまつり委員会 ニ) 南部州実践委員会 ホ) 半世紀構想委員会 ハ) 全国大会誘致委員会 d. 大会登録料	1,000,000 2,534,722 3,407,778 2,553,811 95,576 614,821 33,246 97,724 12,600 1,490,000
4. インフォメーション関係費	310,000	4. インフォメーション関係費	310,000
5. 渉 外 費	1,400,000	5. a. JC間渉外費 b. 諸渉外費	1,200,000 200,000
6. シニアクラブ運営協力金	390,000	6. シニアクラブ運営協力金	390,000
7. 次年度準備金	130,000	7. 次年度準備金	130,000
8. 特別会計繰入支出	100,000	8. 特別会計繰入支出	100,000
9. 予 備 費	150,000	9. 予 備 費	150,000
合 計	21,190,000	合 計	21,190,000

主要項目内訳

収入の部

1. 会費

(単位:円)

款	予算	備考
1. a. 正会員	17,500,000	正会員@ 140,000 × 124 名 休会員@ 70000 × 2 名
b. 賛助会員	50,000	@ 10,000 × 5 名
c. 新入会員	2,800,000	@ 140,000 × 15 名 + @ 140,000 ÷ 2 × 10 名

3. 終身会費

(単位:円)

款	予算	備考
3. 終身会費	780,000	@ 60,000 × 13 名

支出の部

1. 負担金

(単位:円)

款	予算	備考
1. a. JCI	211,133	@ 1,417 × 149 名 [124 + 25]
b. 日本JC	835,000	90,000 + (@ 5,000 × 149 名)
c. 地区	228,500	5,000 + (@ 1,500 × 149 名)
d. ブロック	765,000	20,000 + (@ 5,000 × 149 名)
e. 国際協力金	271,925	@ 1,825 × 149 名
f. WE BELIEVE	447,000	@ 3,000 × 149 名
g. 出向者負担金	360,000	@ 20,000 × 18 名 [(社)日本青年会議所]
	10,000	@ 10,000 × 1 名 [東北地区協議会東北ゼミナール委員会]
	100,000	@ 10,000 × 10 名 [青森ブロック協議会アカデミー-大学塾生]
h. 南部州デザイン会議	50,000	年会費

2. 事務費

(単位:円)

款	予算	備考
2. a. 事務局維持費		
イ. 賃料	168,060	
ロ. 共益費	150,000	
ハ. 光熱費	550,000	
b. 倉庫賃料		
イ. 賃料	315,000	26,250 × 12 ヶ月
c. 事務局員費		
イ. 基本給	2,442,000	203,500 × 12 ヶ月
ロ. 通勤手当	60,000	5,000 × 12 ヶ月
ハ. 精勤手当	240,000	20,000 × 12 ヶ月
ニ. 退職金引当金	48,000	1,000 × 4 口 × 12 ヶ月
ホ. 労働保険料	43,872	
ヘ. 社会保険料	303,888	
ト. 福利厚生費	200,000	
d. 通信費	650,000	
e. 消耗品費	700,000	
f. リース費		
イ. コピー機	13,860	13,860 × 1 年
ロ. 印刷機	24,570	24,570 × 1 年
ハ. FAX・プリンタ	56,400	4,700 × 12 ヶ月
ニ. パソコン	53,292	4,441 × 12 ヶ月
g. 備品費	250,000	
h. 借室料	130,000	
i. 慶弔費	150,000	
j. 雑費	450,000	

6. シニアクラブ運営協力金

(単位:円)

款	予算	備考
6. シニアクラブ運営協力金	390,000	@ 30,000 × 13 名

2007年度 全国大会誘致運動特別会計 収支予算(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
款	予算	款	予算
1. 一般会計繰入収入	100,000	1. 事業費	100,000
2. 前年度繰越金	0		
合計	100,000	合計	100,000

2007年度年間スケジュール(案)

2007年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総会・臨時総会	総会14日(日)						臨時総会18日(水)					
	5(金)	5(月)	5(月)	4(水)	7(月)	4(月)	4(水)	6(月)	4(火)	4(木)	5(月)・28(水)	・総会9日(日)
理事会	14(日)	19(月)	19(月)	18(水)	18(金)	18(月)	18(水)	20(月)	18(火)	18(木)	19(月)	9(日)
	16(火)	21(水)	22(木)	20(金)	22(火)	20(水)	20(金)	22(水)	20(木)	22(月)	21(水)	17(月)
八戸JC	25(木)	26(月)	27(火)	25(水)	28(月)	27(水)	25(水)	28(火)	25(火)	25(木)	26(月)	19(水)
	9(火)・29(月)	7(水)・28(水)	7(水)・29(木)	6(金)・27(金)	9(水)・30(水)	6(水)・28(木)	8(水)・30(木)	5(木)・27(金)	6(木)・26(水)	3(水)・29(月)	7(水)	3(月)・21(金)
幹事会	10(水)	8(木)	8(木)	5(木)	10(木)	7(木)	6(金)	9(木)	7(金)	10(水)		
	・役員・会員会議所 会議[青森] 27日(土)	・役員・会員会議所 会議[平和田] 10日(土)	・役員・会員会議所 会議[弘前] 3日(土)	・役員・会員会議所 会議[三沢] 7日(土)	・役員・会員会議所 会議[むつ] 12日(土)	・役員・会員会議所 会議[黒石] 9日(土)	・役員・会員会議所 会議[湯沢] 7日(土)	・役員・会員会議所 会議[むつ] 7日(土)	・役員・会員会議所 会議[五所川原] 15日(土)	・役員・会員会議所 会議[八戸] 6日(土)	・役員・会員会議所 会議[未定] 17日(土)	・役員・会員会議所 会議[未定] 17日(土)
青森ブロック協議会	・ブロック名刺交換会 27日(土)						・ブロック会員大会 7日(土)				・ブロック卒業式 17日(土)	
	・役員会議19日(金) [京都]	・役員会議9日(金) [仙台]	・役員会議2日(金) [相馬]	・役員会議6日(金) [花巻]	・役員会議11日(金) [塩釜]	・役員会議8日(金) [秋田]	・役員会議13日(金) [十和田]	・役員会議31日(金) [湯沢]	・役員会議5日(金) [長井]	・役員会議2日(金) [仙台]	・役員会議22日(木) [湯沢]	・役員会議10日(月) [仙台]
東北地区協議会	・地区ナイト19日(金) [京都]	・地区ナイト19日(金) [京都]	・地区ナイト19日(金) [京都]	・地区ナイト19日(金) [京都]	・地区ナイト19日(金) [京都]	・地区ナイト19日(金) [京都]	・地区ナイト19日(金) [京都]	・地区ナイト19日(金) [京都]	・東北青年フォーラム 1(土)~2日(日)[湯沢]	・東北青年フォーラム 1(土)~2日(日)[湯沢]	・東北青年フォーラム 1(土)~2日(日)[湯沢]	・役員会議23日(金) [湯沢]
	・理事会19日(金) [京都]	・理事会17日(土)	・理事会17日(土)	・理事会21日(土)	・理事会19日(土)	・理事会23日(土)	・理事会20日(金)	・理事会20日(金)	・理事会15日(土)	・理事会28日(金)	・理事会20日(土)	・理事会8日(土)
JCI・日本JC	・総会20日(土) [京都]	・総会18日(日)	・総会18日(日)	・総会18日(日)	・総会18日(日)	・総会18日(日)	・総会18日(日)	・総会18日(日)	・総会28日(金) [帯広]	・総会28日(金) [帯広]	・JCI世界会議 5日(月)~11日(土) [トルコ・アンタルヤ]	
	・京都会議 18日(木)~21日(日)[京都]				・ASAPAC 31日(木)~3日(日) [台湾・チュンリー]		・サマーコンファレンス 21日(土)~22日(日) [横浜]		・全国会員大会 9/27(木)~30日(日)[帯広]			